



フランチェスコ・アレツォ
2025-2026年度 R I 会長



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840 TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB Symphony Weekly



No. 10

会長/President

齋藤 達雄

幹事/Secretary

池田 貴明

クラブ会報委員長/
Committee Man of Weekly Report

泉 省平

第 1 週

2025年11月14日 (金)

例 会

毎週金曜日

点 鐘 12時30分

例 会 場

マリエールウィル高崎

事務所/Office

高崎市本町144-1 光明第7ビル202号室

T E L 027-328-3371

F A X 027-328-3372

http://www.takasakisympathy-rc.org

E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局員/Office worker

浅見 洋子

本日のプログラム

ガバナー補佐事前訪問 関口 朋克がバナー補佐

国 歌 斉 唱 君が代

ロータリーソング 奉仕の理想

第1279回例会報告

第2週 10月10日 (金)

会場：マリエールウィル高崎「ハンプトン」

プログラム

新会員卓話「自己紹介・仕事紹介」

三國吾郎会員

御来訪者/Visitor 0名

出 席 報 告

会 員 数	47 名
出席計算人数	47 名
本 日 出 席 者	36 名
本 日 出 席 率	76.60%
先々週出席率	69.57%

幹事報告/Secretary Report

- ・神戸東灘RC週報
- ・2026年台北国際大会ご案内
- ・「万灯会」灯籠御奉納御礼 (写真あり)
- ・赤い羽根共同募金チラシ (シールご自由に)
- ・高崎市国際交流協会会報第124号「ともだち」
- ・高崎市児童相談所 贈呈式の新聞記事
- ・地区大会お手伝いについて

委員会報告/Committee Report

- ・会員誕生日祝
井汲 憲治君



- ・配偶者誕生日祝

小林 彌君

八木建司朗君

- ・結婚記念日祝

高橋 正光君

折田 慶太君

堀口 芳明君

齋藤 達雄君

木村めぐみ君



- ・出席率100%

泉 省平君



ニコニコBOX/Donator Niconico Box

泉 省平君 (めっきりすずくなりました)

白石 隆夫君 (三国さんよろしく)

池田 貴明君 (")

安藤 淳君 (")

(会員誕生日祝)

井汲 憲治君

(結婚記念日祝)

高橋 正光君

齋藤 達雄君

折田 慶太君

木村めぐみ君

堀口 芳明君

ロータリー財団BOX/Donator Rotary Foundation

井汲 憲治君

島崎 真澄君

反町 光輝君

柴崎 晟君

宮口 昌利君

池田 貴明君

高柳 一成君

齋藤 達雄君

西野 宏君

清水 雄至君

米山奨学会BOX/Donator Yoneyama Scholarship

泉 省平君

柴崎 晟君

宮口 昌利君

船渡川信幸君

齋藤 達雄君



歌 唱

「故郷」、「里の秋」

歌唱委員会

司 会・物 語：井 汲 憲 治君

ソングリーダー：横 山 正 男君

三 浦 敦 朗君

西 野 宏君

指 揮：高 橋 正 光君

ピ ア ノ：大久保 伊津美君

歌 唱 支 援：安藤君、泉君、池田君、
木村君、豊泉君、柴崎君



次回例会予定

11月21日（金）「竹中隆ガバナー公式訪問」

11:20 クラブ役員との懇談会

12:30 公式訪問例会（例会後集合写真撮影）

13:55 クラブ協議会



ポールハリスの実像

— 『奉仕の1世紀』より —

金 子 秀 隆

1905年、ポールハリスは1業種1名の異業種交流会を提唱し、シカゴで立上げました。ロータリークラブと名付けられ、提唱者ポールは初代会長を他者に譲り黒子となります。自分の事業を他会員に優待し合いかつ囲い込むことができるため急速に大きくなります。

初期シカゴRC職業分類表の中に以下の文章があります。「会の仲間との交際を深め、彼らから取引を得ようとせよ；彼らも同様にするであろう。会の仲間のために、出来る限り友人・知人のあらゆる取引に影響を与えよ。ロータリーでは互惠精神が強靱である。」

1906年、ドナルドカーターが勧誘された際に、会の利己的活動に疑義を呈し「会員以外の人役に立つようなことができれば、将来性がある」と現状にダメ出しをしたのです。ポールもこの奉仕の概念の導入を是としたのですが、クラブ運営には亀裂が入ります。

1907年クラブ方針を修正するため、シカゴRC

C第3代会長にポールハリスが起ちます。公衆トイレ設置を提唱するも融和に至らず、翌年も会長を続投します。会員には「ロータリーの建設者」チェスペリーや第二モットー提案者フレデリックシェルドンが集います。

シカゴRC会員の互惠精神は強靱でした。シェルドンを委員長に新クラブ拡大方針を掲げた事にも拒否反応もあり、クラブ崩壊の危機です。ポール会長は任期途中で立ち退き、シェルドン委員長も解任です。後任は、歌う事でクラブを救ったハリーラグルスでした。

ラグルスの後任の有力候補はチェスペリーでした。しかし対立候補が担ぎ出され、相譲らず初めて会長選挙が行われ、チェスは落選します。これもクラブ分裂の芽となった為、以降会長選挙が行われなくなったと言われています。

ある意味シカゴRCからパージされたポールハリス・フレデリックシェルドン・チェスペリーが、次の居場所としたのが、1910年16クラブに増えたRCをまとめた全米ロータリークラブ連合会でした。クラブ拡大と奉仕をこの連合会が担うことになります。

この連合会初代会長はポールハリスが務めます。チェスペリーは事務総長に就任し以降1942年まで在任します。シェルドンは「最も奉仕するもの最も多く報いられる」というロータリー第二モットーの原型を発表します。連合会綱領も制定されました。

その綱領の中に「高潔なビジネス方法の推進」があります。これは高潔でない方法とは従来の会員優遇取引であり、高潔なビジネス方法とは職業倫理向上である。これが職業奉仕の源流となります。ハリスはクラブで出来なかった事を連合会に求めたのでしょう。

1911年ポールハリス連合会会長は対立より“寛容”を説いた「合理的ロータリー主義」を書き上げます。チェスペリー事務総長は機関誌『ナショナルロータリアン』を創刊し、これに掲載します。機関誌は情報共有を目的として費用は主に広告料で継続されました。

時を同じくしてロータリーの閉鎖性を批判する新聞記事が相次ぎます。ポールハリスはクラブに会員優遇取引の中止を呼びかけます。全米連合会会長の最後の務めとして、会員優遇取引の中核だった統計係をクラブ役員から外し、奉仕派が優勢を占めました。

連合会長を退いたポールハリスは名誉会長の座を与えられます。しかしクラブ例会や米国内のRC尋ねる他、10年以上大会等公式の場から去ってしまいます。